

産直商品・栽培計画管理の取り組みについて

～ eB-freshを活用した農産品仕様書管理について～

2015年10月

生活協同組合連合会コープネット事業連合

商品業務管理 統括部長

生鮮調達管理部 部長 内田一樹

コープネットグループとは

同じ理念とビジョンを掲げる1都7県の
生協グループです。(組合員数 446万人) [2015年8月現在]



コープみらい コープぐんま
(千葉、埼玉、東京エリア)

いばらきコープ コープながの

とちぎコープ コープにいがた



コープネットグループの事業規模

6会員生協合計の事業高は5,123億円 [2014年度]

主な事業



コープデリ！ 宅配事業
供給高3,683億円 (前年比104.1%)



店舗事業
供給高1,270億円 (前年比99%)

コープネット商品政策6つの柱

1. ふだんのくらしに必要な商品を提供し、毎日のくらしに貢献します。
2. 提供するすべての食品の安全性確保に取り組めます。
3. くらしに役立つ「コープ商品」を提供します。
4. 組合員・生産者とともに「産直」に取り組めます。
5. 持続可能な食料生産と健康なくらしを目指します。
6. 環境にやさしい事業とくらしを目指します。

コープネット産直5つの基本

1. 生産地、生産者、生産・流通方法が明確であること



- ・基準、ルール等の相互確認
- ・産直商品開発計画書(仕様書)の作成
- ・管理計画の明確化

「だれが、どこで、どうやって作ったのか」明確になっています。何ごとも「わかっている」のがコープの産直です。栽培・収穫、農薬・肥料の使用、輸送、加工など組合員に届くまでの流れについて、項目ごとに決めています。

2. 記録・点検・検査による検証システムがあること



- ・生産記録の管理
- ・産地点検
- ・残留農薬検査
- ・生産情報の発信

「だれが、どこで、どうやって作ったのか」データなどから証明することができます。生産記録と産地点検を定期的に行い、産直商品の管理状況を確認しています。

3. 持続可能な生産と、環境に配慮した事業を推進すること



- ・農薬、化学肥料の削減
- ・食品残さの再利用
- ・家畜ふんのたい肥利用
- ・効率化・短縮化

JAS有機栽培農産物・特別栽培農産物などについて生産者の取り組みを評価し、「グリーンプログラム」ブランドとして展開しています。コープは生産者が主体的に農薬・化学肥料の使用量を減らす取り組みを応援しています。

コープネット産直5つの基本

4. 生産地、生産者団体との自立・対等を基礎としたパートナーシップを確立すること



- ・コープネットエリア協議会
- ・協同組合間の提携
- ・産地との協力関係強化

産地とは年間を通した取り組み、来年、再来年へとつながる取り組みを進めています。ピンチの時は、お互い協力して困難を乗り越えてきています。日ごろの信頼関係があるからこそ、おいしい野菜・果実を安定して組合員に届けることができます。

5. 組合員と生産者との多面的な交流を推進すること



- ・産地見学、産地交流
- ・学習会
- ・産地情報の発信

コープの産直は、生産者と組合員をつないでいます。産地の特徴や生産者のこだわり・想いを組合員に伝え、組合員の願いや想いを生産者に伝えています。売り買いの関係を超えて、さまざまな場面で交流しています。

コープネットグループの産直商品について

■農産産直商品:

499産地、野菜509品目、果物349品目

■2014年度 供給高:

286億円(供給高比率52.4%)

■店舗での産直商品の位置づけ:

客数増のための集客部門(品質・鮮度・価格の追求)

■宅配での産直商品の位置づけ:

差別化(ならでは商品)として、現在毎週150品目

→3年以内に250品目へ

産直商品開発計画書(仕様書)について

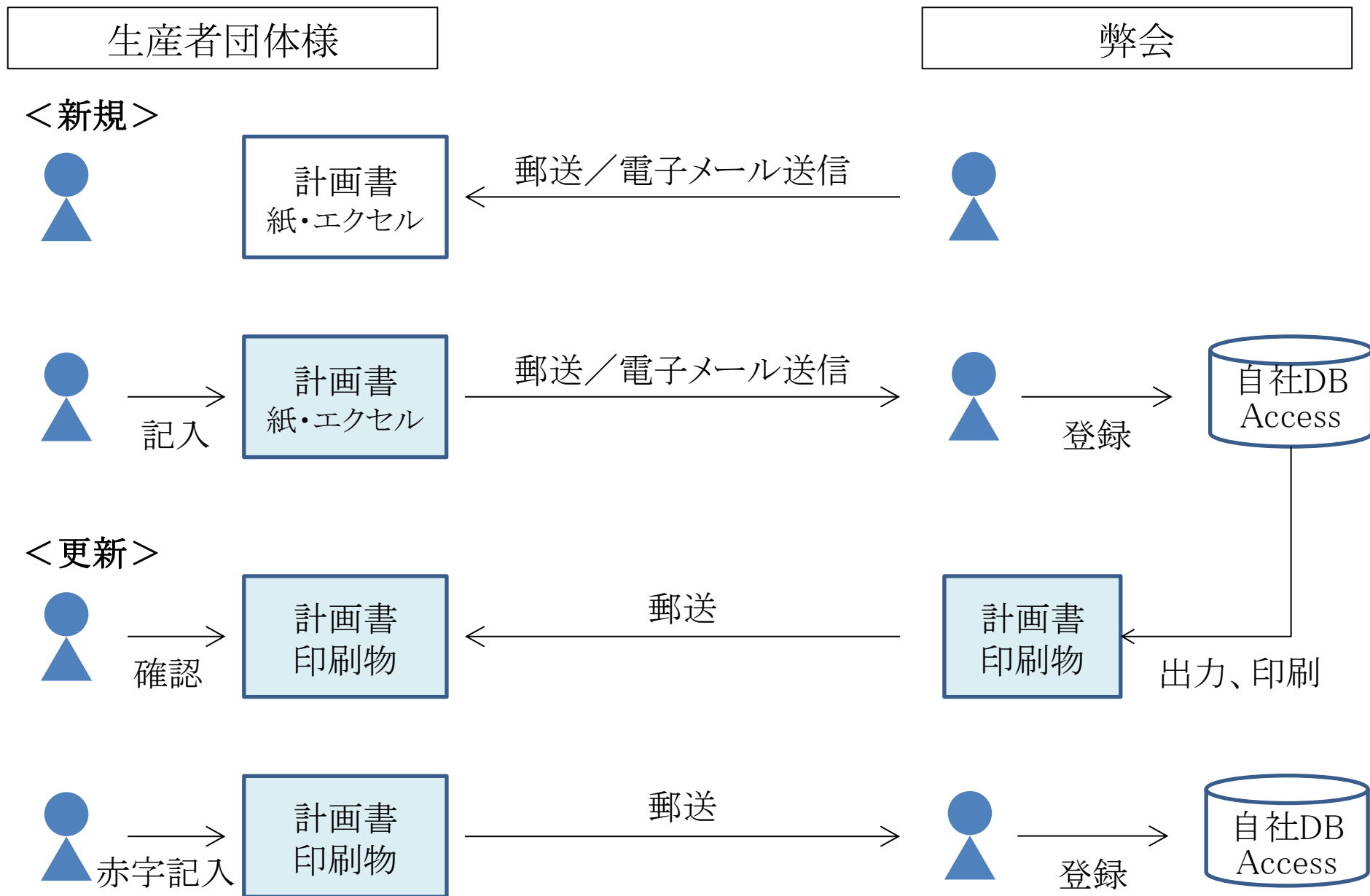
産直商品開発計画書エクセル ※一部抜粋 {日生協産直事業委員会フォーマット}

E. 使用肥料リスト						D. 使用農薬リスト					
生産者 生産者団体名		品目				生産者 生産者団体名		品目			
当該品目で使用する肥料(土壌改良剤・堆肥・微生物資材なども)を記入						当該品目で使用する農薬(種子消毒・土壌消毒・フェロモントラップ・植物成長剤・展着剤等も)を記入					
No.	商品名	成分含有量 上段:窒素・リン・カリ 下段:その他	化学窒素 含有割合	使用量 Kg/10a	うち化 学窒素	使用 目的	No.	商品名	有効成分名	化 成 成 分 数	使用目的(殺虫・殺 菌・除草など)
1		N P					1				
2		N P									
3		N P									
4		N P									
5		N P									
6		N P									
7		N P									
8		N P									
9		N P									
10		N P									
11		N P									
12		N P									
13		N P									

F. 作業別栽培計画						
生産者 生産者団体名		品目				
※ 作型は「商品のプロフィール」に記載した作型を記入してください。(複数ある場合は2枚目を用意)						
作型						
記号: <input type="checkbox"/> 育苗 <input type="checkbox"/> 播種 <input type="checkbox"/> 定植 <input type="checkbox"/> トンネル ●-● 収穫期間						
作業時期	記号	作業内容	農薬番号 「使用農薬リスト」から選択	肥料番号 リストから選択		
月	上旬					
	中旬					
	下旬					
月	上旬					
	中旬					
	下旬					
月	上旬					
	中旬					
	下旬					
月	上旬					
	中旬					

農産物品質保証システムを構成する重要な帳票の1つ

従来の産直商品開発計画書(仕様書)収集、管理業務の流れについて



従来業務の課題、問題点について

産直商品開発計画書(仕様書)はエクセル、紙を利用した運用。



1. メンテナンスコスト、リードタイム等の問題

- ・毎年、郵送、データ登録コストが発生する。
- ・郵送、電子メールによる送、返信のリードタイムが長く、誤配送の可能性もある。

2. 情報精度、確認業務の問題

- ・記入、更新漏れが多く、確認作業が非常に煩雑。
- ・農薬登録の有無、適用作物、病虫害等の調査に非常に時間がかかる。

3. その他の問題

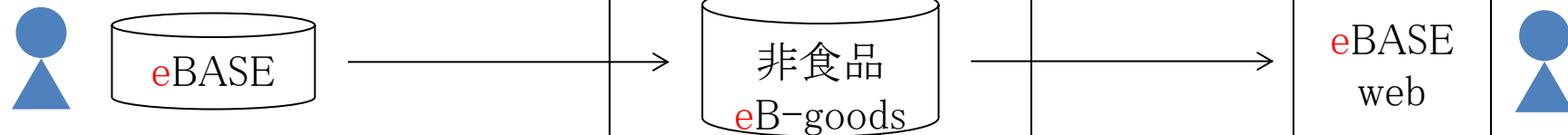
- ・計画書以外の証明書等、担保書類が多く、管理が難しい。
- ・自社データベースの維持、開発負担が増えてきた。

eBASEを活用した課題解決について(運用イメージ、全体像)

【卸・メーカー様】

【eBASE社クラウド】

【弊社】



【産地・生産者団体様】



従来活用していたeBASE運用対象を「農産品」に拡張。
eBASEを活用した生産者団体との情報交換運用に！

農産品栽培計画・実績管理画面について(eB-fresh/nousan)

例:使用農薬リスト

The screenshot displays the 'eBASEプラグイン' application window. The title bar indicates the current screen mode is '農産品栽培計画(コープネット)'. The main interface is divided into several sections:

- Navigation and Action Buttons:** Located at the top, including '<<', '>>', '8 / 10', '画面モード', and buttons for '新規', '複製', '取消', '登録', '削除', '終了', '環境設定', and 'オプション'.
- Menu Bar:** Contains '生産者・商品情報', '栽培概要', '品質管理', '使用農薬リスト' (the active screen), '使用肥料リスト', '作業別栽培計画', 'コープネット', '添付書類', and '確認・承認'.
- Left Panel:** Features a tree view for product selection under 'みかん'. The selected item is 'トモノール'. Other items include 'デランフロアブル', 'ジマンダイセン水和剤', 'モスピラン水溶剤', 'ダントツ水溶剤', 'アブロード水和剤', 'ベフラン液剤5', and 'トップジンM水和剤'. Below the tree are buttons for '農業作成', '削除', and '並び順' (with up/down arrows).
- Main Table:** Displays a list of pesticides with the following data:

商品名	有効成分名	化成成分数	使用目的
1 トモノール	マシン油	0	殺虫剤
2 デランフロアブル	ジチアノン	1	殺菌剤
3 ジマンダイセン水和剤	マンゼブ	1	殺菌剤
4 モスピラン水溶剤	アセタミブリド	1	殺虫剤
5 ダントツ水溶剤	クロチアニジン	1	殺虫剤
6 アブロード水和剤	ブプロフェジン/	1	殺虫剤
7 ベフラン液剤5	イミノクタジン酢塩酸	1	殺菌剤
8 トップジンM水和剤	チオファネートメチル	1	殺菌剤

At the bottom left, there are buttons for '配合手入力' and '農薬コピー'.

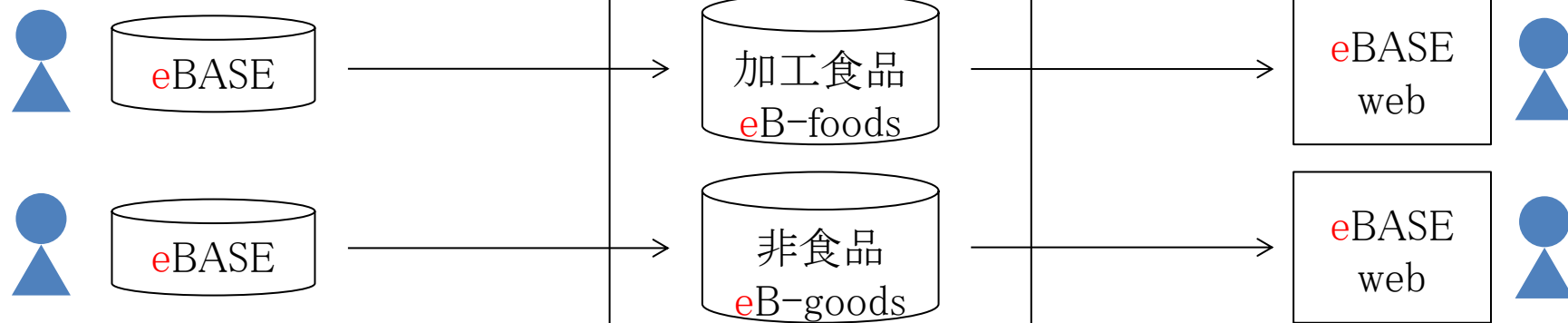
情報管理画面の日生協産直事業委員会フォーマット対応。
運用開始に向け、eBASE社へ強化を依頼

他生協と連携した、本格展開に向けた準備を開始

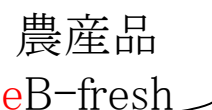
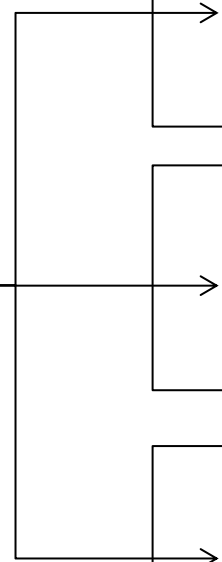
【卸・メーカー様】

【eBASE社クラウド】

【弊会】



【産地・生産者団体様】



【日生協様】



【ユーコープ様】



日本生協連様、ユーコープ様とともに、初年度は3生協でスタート。

eBASE導入効果、期待すること

- 毎年発生していた郵送、データ登録コストがなくなり、生産者団体様からの情報取得までのリードタイム短縮が可能になる。
- 生産者団体様にて入力いただく情報精度が向上し、確認作業の効率化が見込まれる。
- 自動化により、農薬登録の有無等の調査時間が大幅に削減される。
- データベース化により、仕様書と多くの担保書類の紐づけ管理が可能になり、検索機能の充実、データ活用の向上が見込まれる。
- 生協、生産者団体様ともに、タイムリーな法改正等に対応したパッケージソフト利用が可能になる。

今後の展開、さらなる活用について

■構築したデータを他部門へ展開

①宅配・店舗チラシ作成システムとの連携。

(データをそのままチラシ作成データに取り込み)

②産地・栽培方法に対する組合員からの問い合わせ対応やホームページでの産地公開などに活用。

ご清聴ありがとうございました。